

# 第1学年〇組 音楽科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時（音楽室）

指導者 〇 〇 〇 〇

## 1 題材 曲の形式を生かして歌おう

## 2 題材の目標

- (1) 曲想と形式や歌詞との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音などを身に付けることができる。
- (2) 曲想と形式や歌詞との関わりについての知識や、音域や強弱に応じた発声、鼻濁音の発音などの技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する活動に主体的・協働的に取り組もうとする。

## 3 学習の計画 (3時間完了)

第1時（本時） 「夏の思い出」の歌詞や旋律のまとまりを理解して表現し、強弱の設定を生かして表現を工夫する。

第2時 「赤とんぼ」の曲想を感じ取りながら表現を工夫して歌唱する。

第3時 「夏の思い出」や「赤とんぼ」をこれまでの学習で得た知識や技能を生かして表現する。

## 4 本時の学習指導

### (1) 目標

- 言葉の抑揚と順次進行による旋律との関わりを理解し、それを生かして歌うことができる。
- 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、内容を理解しようとしたり、言葉の抑揚やアクセントを生かして歌ったりする活動に主体的に取り組もうとしている。

### (2) 準備・資料

- 教師……範唱音源、ワークシート
- 生徒……タブレット

### (3) 関連

2年 音楽 曲の形式を生かして歌おう（曲想と形式との関わりを理解して、強弱や音域に応じた声で歌おう）

3年 音楽 曲の形式を生かして歌おう（曲の形式を生かして表現を工夫しよう）

### (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
課題をつかむ	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>(1) 発声練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「あくびのうた」を歌う。</li> <li>○音階練習をする。</li> </ul> <p>(2) 夏のイメージについて話し合う。</p> <p>(3) 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">歌詞や旋律のまとまりを意識して、夏の思い出を歌おう。</div>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌う姿勢について確認する。</li> <li>○生徒の状況に応じて、発声の仕方や身体の使い方、呼吸についても指導する。</li> <li>○よい点についての言葉掛けを行い、歌う雰囲気づくりをする。</li> <li>○学習する「夏の思い出」の歌詞に着目できるように、夏をイメージする言葉を発表する場を設ける。</li> <li>○課題を示すことで、本時の学習の見通しをもたせる。</li> </ul>
追	<p>2 「夏の思い出」を歌う。</p> <p>(1) 歌詞を読み合わせ、内容を理解する。</p> <p>(2) 主旋律を歌う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○旋律の反復や変化などを考えさせ、P. 84を参照しながら二部形式の補足説明をする。</li> <li>○タブレットでまなびリンクを活用して、尾瀬の情景を確認させる。</li> </ul>

究 す る  ま と め る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 範唱を聴き、曲の感じをつかむ。</li> <li>○ 夏の思い出の主旋律を歌う。</li> </ul>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小楽節ごとの強弱の設定を確かめ、旋律のまとまりを意識して表現させる。</li> </ul> <p>評曲の全体をつかんで、「夏の思い出」を歌唱している。(歌唱)</p>
	<p>3 言葉と旋律の関係を感じ取り、歌い方を工夫する。</p> <p>(1) 旋律の流れや休符を意識して歌う</p> <p>(2) 細かな強弱記号を確認し、「咲いている」や「水の辺り」の歌い方を工夫して歌う。</p> <p>(3) 「はるかな尾瀬 遠い空」(3～4小節目)と(最後)の違いを理解し、曲想や歌詞に込められた思いを感じ取って歌う。</p> <p>(4) 適切な速度で歌ったり、伴奏の変化を味わったりしながら歌う。</p>	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 抑揚や間を工夫させながら詩を朗読させ順次進行に気付かせたり、休符なしの教師の意図的な範読で休符の意味に気付かせたりする。</li> <li>○ 教科書P.19を参照しながら、鼻濁音の発音の仕方を理解し、強弱の設定や音域の高低から曲の山場を考えながら歌わせる。</li> <li>○ 同じ歌詞だが、旋律や強弱、フェルマータ、テヌートなどによる違いがあることを知覚させる。</li> </ul> <p>○ いろいろな速度で歌ったり、同じ歌の旋律に付けられたピアノの伴奏の響きの違いを感じ取らせたりする。</p> <p>評言葉の抑揚と順次進行による旋律を感じ取って歌っている。(歌唱)</p>
	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 「夏の思い出」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級を二つに分けて歌い、互いの歌を聴き合う。</li> <li>○ 本時の感想を書く。</li> </ul> <p>(2) 次時の授業について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「赤とんぼ」を歌うことについて知る。</li> </ul>	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時で学んだ歌詞の情景を思い浮かべたり、曲想を感じさせたりしながら歌わせる。</li> </ul> <p>評本時で学習した内容を振り返って歌唱したり感想をまとめたりすることができる。(歌唱、ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次時は本時に学んだことをふまえ、「赤とんぼ」を歌うことを伝える。</li> </ul>

(5) 本時の評価規準

- 言葉の抑揚と順次進行による旋律との関わりを感じ取り、それを生かして歌っている。(歌唱)
- 歌詞の内容や曲想に関心をもち、自分の言葉で感じたことをまとめたり、言葉の抑揚やアクセントを生かして歌おうとしたりしている。(歌唱、ワークシート)

## 5 備 考

(1) 学級の実態

- 本学級の生徒は、音楽が好きな生徒が多く、歌詞を音読したり、歌を歌ったりする活動に積極的である。しかし、歌唱活動における工夫に関しては、何を工夫すればよいのか分からないと答える生徒も多い。よって、本時は具体的に工夫するポイントを明示して、歌唱表現を高めていきたいと考える。

(2) 指導の力点

- 発声練習を行うことで、弱くてもしっかりと響く声が出せるようにする。
- 言葉と旋律との関係を感じ取らせるために、教師による意図的な範読をしたり、同じ歌詞のところの歌い方を比較させたりしながら学習させる。
- 教師が一方的に歌詞の意味を教えるのではなく生徒が自主的に考えたり、発表しやすくしたりするために、タブレットの写真などの視覚教材を効果的に活用し、歌唱活動につなげていく。

## 6 指導と評価